

## 平成19年分の確定申告から 農業所得簡易計算(農業所得標準)が廃止されます

農業所得簡易計算の廃止に伴い、家事消費等の計算の目安としていた「保有米の60kg当たりの単価」及び「自家用畑の10a当たりの収入金額」も廃止されます。

農業所得は他の事業所得と同様に、実際の収入金額から必要経費を差し引いて所得金額を計算する収支計算が原則です。

これまで比較的小規模の方のうち収支計算が困難な方については、申告の目安として「農業所得簡易計算」を適用し確定申告を行っていましたが、平成19年分の所得税確定申告から収支計算により農業所得を計算することになります。

**収支計算を行うためには**→収入金額や必要経費に係る請求書、領収書などの書類の保存と日々の取引の記録(帳簿)が必要です。

**保存する書類**→①<収入金額の分かる書類>…出荷伝票、納品書(控)、仕切書など  
②<必要経費の分かる書類>…請求書、納品書、領収書など

※このほかに、販売代金の入金や肥料代金などが引き落とされる口座の通帳や、農産物の出荷や購買代金の明細書なども必要です。

こまめに領収書などの書類整理と記帳を行い、平成19年分の所得税確定申告からスムーズに収支計算ができるよう心がけましょう。

問い合わせ 大曲税務署 ☎0187(62)2191

## 介護保険所の 事務からお知らせ

問い合わせ

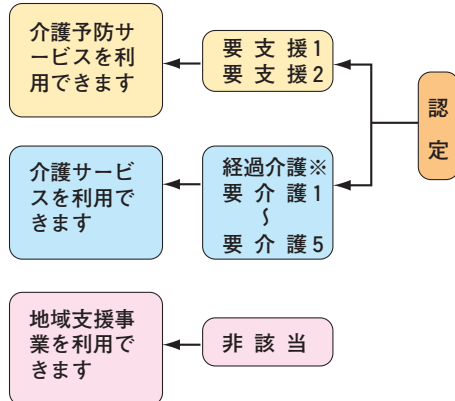
介護保険事務所  
☎0187(86)3912  
美郷町地域包括支援センター  
☎0187(84)4907

## 平成十九年四月から 「介護予防サービス」が始まります

介護保険のサービスを利用するときは、まず「要介護認定」を受けていただきます。その際「要支援1」「要支援2」と認定された方は、状態を改善し悪化を防ぐ「介護予防サービス」を利用できます。「要介護1」から「要介護5」と認定された方は、これまでどおりの介護サービスを利用できます。

介護予防サービスとは、在宅サービスに筋力の向上や栄養改善、口腔機能の改善など介護予防を目的とした内容が組み込まれたものです。

介護予防サービスの利用については、これまで介護サービスを利用して、更新申請等で「要支援1」「要支援2」と認定を受けた方は担当のケアマネジャーに、また、初めて申請して「要支援1」「要支援2」と認定された方は、地域包括支援センターにご連絡ください。



※現在、経過介護と認定されている方は、その有効期間終了まで介護サービスを利用することができます。

### 在宅外科当番医のご案内

診察日	当番医
3月4日(日)	仙北組合総合病院 整形
11日(日)	大曲中通病院
18日(日)	仙北組合総合病院 外科
21日(水)	仙北組合総合病院 整形
25日(日)	仙北組合総合病院 外科
4月1日(日)	大曲中通病院

診察時間 ●午前10時～午後4時

電話番号 ●仙北組合総合病院 0187-63-2111

大曲中通病院 0187-63-2131

### 歯科休日当番医のご案内

診察日	当番医	電話番号(0187)
3月4日(日)	こまい歯科医院(大仙市大曲上栄町)	62-4189
11日(日)	金子歯科医院(大仙市大曲丸子町)	63-7300
18日(日)	船木歯科医院(大仙市神宮寺)	63-0027
21日(水)	岩田歯科医院(大仙市四ツ屋)	62-8264
25日(日)	タケダ歯科医院クリニック(大仙市大曲飯田)	62-6480
4月1日(日)	にしき歯科クリニック(仙北市西木町)	47-2894

診察時間 ●午前9時～午後3時

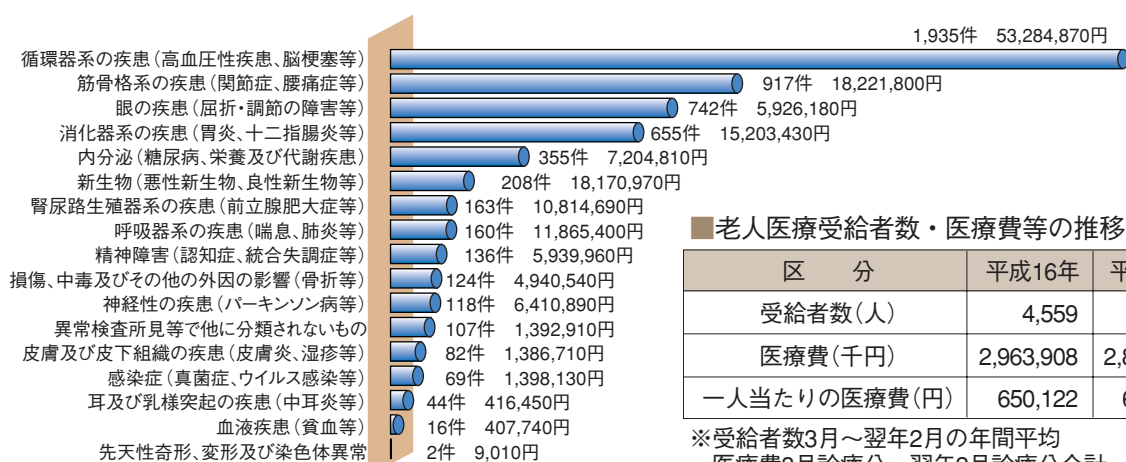
## 本町の老人保健の状況をお知らせします

本町の老人保健の受給者数は平成18年12月31日現在、4,044人で人口の約17%の人が老人保健制度で医療を受けています。

受給者数は平成14年度の制度改正により、老人保健で医療を受ける対象年齢が70歳から75歳に引き上げられたことにより、その対象者数は年々減少し、平成17年度の年間平均受給者数は4,319人で対前年度比5.26%減少、医療費についても、28億3,986万5千円で対前年度比4.19%減少となっています。しかし、一人当たりの医療費は65万7,528円と対前年度比1.14%増加しています。

このことについて、疾病統計(平成18年5月診療分)を参考に疾病状況(下図参照)を分類・分析したところ、件数の多い順に循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患、眼の疾患となりました。なかでも、生活習慣病とよばれる高血圧性疾患、脳梗塞、心疾患、糖尿病などで医療を受けている割合が高く、慢性的な病気は完治することが難しく、他の病気も併発しやすいため、療養期間が長くなります。同様に腰痛症や関節症も慢性化しやすいことから一人当たりの医療費が増えていると考えられます。

疾病別件数と費用額(平成18年5月診療分)



■老人医療受給者数・医療費等の推移

区分	平成16年	平成17年	前年比(%)
受給者数(人)	4,559	4,319	▲ 5.26
医療費(千円)	2,963,908	2,839,865	▲ 4.19
一人当たりの医療費(円)	650,122	657,528	1.14

※受給者数3月～翌年2月の年間平均  
医療費3月診療分～翌年2月診療分合計

## いきいきとした生活を送るために

### ■病气やけがを予防しましょう

いきいきと自立した毎日を送るためには、病气やけがを予防することが大切です。日ごろから生活習慣や転倒などに注意しましょう。

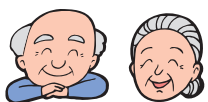
### ■毎日を笑ってすごすことを心がけましょう

心身の老化のスピードは本人の心がけと、周囲の環境によって速くも遅くもなります。元気にいきいきとした生活を送るために、毎日、笑ってすごすことを心がけましょう。

### 毎日を笑ってすごすコツ

#### まずはにっこり してみよう

落ち込んでいるときは、笑顔をつくってみるだけでも、自分もまわりも心が明るくなります。



#### 「どこが面白いの」 「どっちでもいい」 は禁句に

何でも「とりあえず」始めてみると、次々に自分のやりたいことが見えてきます。



#### 主役意識を 持ちましょう

他の誰でもなく「自分が主役」という自覚があれば、精神的に衰えません。



#### いきかいを 見つけましょう

仕事やボランティア、学習、趣味、スポーツなどに挑戦してみましょう。



#### 積極的に外へ 出ましょう

外に出るといつもと違う風景に好奇心が刺激されます。脳や心の老化を食いとめる好奇心や感動を忘れずに。



#### おしゃれを しましょう

おしゃれをすると、気分が明るくなります。心に張りが生まれ、外出もおっくうでなくなります。

